



あ げ お 議会 だより

第208号
令和5年(2023)
12月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467

上尾市消防本部
AGEO FIRE DEPT.

消防隊員になりきって記念撮影

10月28日、市消防本部で「消防フェア2023」が開催されました。消防訓練や消防車両の披露、消火体験など、消防活動を身近に感じられ、子どもたちをはじめ多くの来場者でにぎわいました。

冬は乾燥しやすく、火災が発生する危険性が高まります。火の元の確認、暖房器具の適切な使用を心掛けましょう。

主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査、討論	3～4ページ
決算特別委員会	5ページ
提出議案・請願とその結果	6ページ
行政視察報告	7ページ
市政に対する一般質問	8～15ページ
委員会活動	16ページ

Pick Up

9月定例会で審議された議案は、市長提出議案（追加提出議案を含む）19件、議員提出議案5件の計24件で、21件を原案のとおり可決・認定・同意し、3件を否決しました。

令和5年9月定例会 審議された主な議案

議案第63号 令和5年度上尾市一般会計補正予算（第5号） 歳入歳出補正額 6億6388万1000円
 議案第74号 令和5年度上尾市一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出補正額 6932万2000円

令和5年度一般会計補正予算を可決

主な事業

●公共施設の駐車場に、歩行が困難な方のための優先駐車区画を設置

埼玉県思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）の創設に伴い、障害のある方など歩行が困難な方のための優先駐車区画を市内各公共施設の駐車場に設置するもの。

埼玉県思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）とは？

障害のある方や要介護高齢者、妊産婦など歩行が困難な方のための駐車区画について、利用者の範囲を定め、対象者に利用証を交付することで、駐車区画の適正利用を推進する制度。



思いやり駐車場の例（埼玉県提供）

●自然学習館・大谷公民館・市民体育館の空調設備を更新

自然学習館・大谷公民館・上尾市民体育館トレーニング室の空調設備が故障し、一部使用できない状態となっていることから、空調設備を更新するもの。

議案第75号 工事請負契約の締結について

UDトラックス上尾スタジアムのスコアボードを改修

UDトラックス上尾スタジアム（上尾市民球場）のスコアボードが老朽化していることから、スクリーンおよび表示システムの交換などを実施するもの。

※その他の議案や議決結果については、6ページ「令和5年9月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

9月定例会の動き	
8月30日 本会議 開会、市長提出議案の上程および説明、監査報告	9月4日 本会議 提出議案に対する質疑、委員会付託 委員会 決算特別委員会
9月5日 委員会 総務・都市整備消防常任委員会	9月6日 委員会 文教経済・健康福祉常任委員会
9月8・11・15日 委員会 決算特別委員会	9月20・21日 本会議 一般質問
9月22日 本会議 一般質問、追加提出議案の上程および説明	9月25日 本会議 一般質問
9月26日 本会議 一般質問、追加提出議案に対する質疑、委員会付託 委員会 総務・文教経済・都市整備消防常任委員会	9月29日 本会議 委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、説明、採決、閉会

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

補正予算
ふるさと納税の増額を見込み関連予算を計上

〈メモ〉本市に対する「ふるさと納税寄附額」が当初の想定よりも早い時期に大きく上回ることが見込まれるため、返礼品の経費、基金積立金などの関連予算を増額計上するもの。

委員 「ふるさとあげお応援基金寄附金」の歳入額を1億8670万円と見込んでいるが、要因分析はできているのか。

答 本年度から、主力返礼品である電動自転車について、グレードの高い高額の自転車を用意している。また、新たにふるさと納税のポータルサイトを追加したことから、寄付が増額したものと考えている。

委員 一時的なものではなく、今後も継続して同程度の金額が寄付される見込みがあるのか。

答 今回追加した返礼品については、今後も継続的に提供していきたいと考えているため、後年度以降も同程度の寄付収入が見込めるのではないかと考えている。



返礼品の電動自転車の一例

都市整備消防常任委員会

補正予算
自然学習館の空調設備を更新

〈メモ〉自然学習館では、本年5月に多目的室などの空調設備が故障し、使用できない状況になっている。また、その他の空調設備についても故障した機器と同年型で

あり、いつ不具合が起きてもおかしくない状況であるため、全ての空調設備を更新するもの。

委員 空調機はいつ設置されたものなのか。

答 自然学習館は平成11年に造られたため、約25年が経過している。

委員 まだ動いている機器も交換することだが、他の公共施設においても同様な対応か。

答 自然学習館は建物の長寿命化を図っているが、空調設備は該当していない。施設マネジメント担当課と協議し、約25年経過していることから一斉に交換した方がいいと判断した。また、個別に交換した場合、総工費が750万円程度高額になると試算し、財政部局とも協議して決定した。

文教経済常任委員会

請願審査
教員の働き方改革を求め
る請願を審査

〈メモ〉上尾市教育委員会が示した「時間外在校等時間 月45時間以内、年360時間以内の教員数の割合を令和6年度末までに100%に」という目標を、確実に達成することを求めるもの。

委員 目標に対する現在の達成率

は、どのような状況か。

答 本年6月の調査結果によると、小学校教職員のうち52・2%が45時間超、2・4%が80時間超の時間外在校等時間があった。また中学校では62・6%が45時間超、17・3%が80時間超であった。

委員 令和4年6月の小学校における45時間超勤務が58・9%であるので少しづつ下がっているが、このペースでは100%達成は難しいのではないかと。思い切った施策や対策は考えているか。

答 資料作成などの事務を担い、教職員を補助する人員を配置することがポイントになると思う。また、本年度導入した校務支援システムをはじめとしたICTを活用し、事務の削減を進めていかなければならないと考えている。

健康福祉常任委員会

補正予算
埼玉県思いやり駐車場
制度の運用を開始

〈メモ〉埼玉県思いやり駐車場制度の創設に伴い、障害のある人や要介護状態にある高齢者など、歩行が困難な人のための優先駐車区画を市内各施設の駐車場に設置するもの。



利用証（埼玉県提供。左から車椅子利用者用（青色）、その他の高齢者・障害者等用（緑色）、妊産婦・けが人等用（オレンジ色））

委員 以前の障害者駐車場は、障害者に限定されていたのか。

答 障害のある人や高齢者、妊婦の人でも利用が可能であったが、利用証を交付することにより、利用者が明確になるメリットがある。

委員 窓口に来なくても利用証の申請はできるのか。また利用証がないと駐車できないのか。

答 埼玉県福祉政策課で電子申請を予定している。また、県によると利用証がなくても駐車できるとのことだが、極力取得していただくよう周知していく。

委員 利用証は、県内だけでなく他の都道府県でも有効なのか。

答 他の都道府県でも使えるとのことである。

討論

令和4年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定

賛成 共産党 市民の要望が幾つか執行されたことは評価するが、

市民の福利を守る防波堤の役割を果たすことが真に求められる。市民の命、暮らしや営業を守るため、豊かな事業展開を期待する。

令和4年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

反対 共産党 令和4年度に税率改定があった。市は負担軽減のため

一般会計から繰り入れていているが、国はこれを解消するよう求めている。加入者に負担を押し付けているものであり、反対する。

令和4年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

反対 共産党 所得割や均等割の引き上げがあり、年金が減る中で

物価高騰など負担がのしかかっている。さらに一定の所得のある被保険者の窓口払いを2割に引き上げ、約9千人が影響を受けた。

令和4年度上尾市水道事業会計決算の認定、令和4年度上尾市公共下水道事業会計決算の認定

反対 無党派（秋山） 4月から

始まる水道事業は、前年度の10月から11月に入札すべきと前から言ってきたが、2月から1月31日の変更になった。これでは何のためか分からない。今回も同様に入札が行われていたので反対する。

工事請負契約の締結（UDトラックス上尾スタジアムスコアボード改修工事）

反対 無党派（秋山） UDトラックスの宣伝になるが、費用負担の要望はしていないとのことである。要望して出なかったのであれば仕方ないが、そうした市の姿勢に対して反対する。

健康保険証廃止に対する意見書提出に関する請願

賛成 政策・市民の声 民間調査によると、医療関係者や高齢者施設において、来年秋の廃止に賛成をしているのは少数である。現場の声をくみ取れていないことは明らかで、現場の意見を基に制度設計を見直すことが必要である。

賛成 共産党 重い障害がある方や認知症高齢者が申請もできないなど、マイナ保険証を持っていない人が生まれている。誰一人として無保険者をつくらないために、保険証の廃止を中止することが必要であり、この請願に賛成する。

建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書の提出を求めるに関する請願

賛成 共産党 建設アスベスト給付金制度には受給要件があり、給付額や被害者の全面的な救済になっていない。現行法で救済されないアスベスト被害者の救済を求め、被害者を一人も取り残さないために、この請願に賛成する。

普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・土・水の安全の保障を求める意見書の提出を求める請願

反対 同志会 基地問題は周辺住民の生活環境に影響する他、国防に係る重要な問題である一方で、市議会として意見を出すのであれば、各項目の実現性や政策適合性を調査する必要がある。国や宜野湾市で各種取り組みが進んでいる以上、慎重を期すべきと考える。

賛成 共産党 基地の強化は、かつて周辺国の緊張を高めて、日本に危機をもたらす。安全の保障を求める請願者の願いはもっともであり、市議会としても国に意見書を提出すべきと強く思う。

令和4年度決算を審査

次年度の予算編成に生かすため、市に提言しました

9月定例会では、決算特別委員会を設置して、令和4年度一般会計など6会計について審査し、いずれも認定しました。

なお、令和4年度決算を踏まえ、令和6年度の予算編成に生かすため、委員が全会一致で合意した以下の7項目を提言書としてまとめ、市長に提出しました。

決算特別委員会委員構成(◎が委員長、○が副委員長)

◎鈴木 茂 ○田島 純 佐藤恵理子 秋山かほる
 新道 龍一 樋口 敦 矢口 豊人 新藤 孝子
 渡辺 綱一 前島 るり 池田 達生 大室 尚
 道下 文男 井上 茂



左から田島副委員長、畠山市長、鈴木委員長、坂本副市長

提言書

1 歳入の確保・事業精査

- ・光熱水費をはじめとする物価の高騰が本市の経費を圧迫している現状を踏まえ、物価変動の影響に耐えうる税外収入の強化に努め、国や県の動向などを注視し、あらゆる歳入拡大策の検討と必要事業の精査に努めること。

2 スポーツ施設の環境整備

- ・「スポーツ健康都市宣言」の名にふさわしい市内スポーツ施設の環境整備をさらに推し進め、トイレの改修や管理棟、更衣室などの整備などを行うこと。

3 利便性の高い公共交通の実現

- ・高齢者や交通弱者をはじめ市民への利便性の高い公共交通の実現を目指し、デマンド交通などの先進事例の調査・研究を具体的に進めること。

4 災害対策の強化

- ・近年風水害が深刻化している中で、河川の溢水による家屋への浸水などを軽減させるため、雨水貯留施設の整備などの対策を講じること。
- ・災害避難の対策を充実させるための施策を講じること。

5 消防・救急体制の強化

- ・大規模災害や新たな感染症発生に対する備えなどを考慮し、救急車両の増車や消防職員の増員など、消防・救急体制のさらなる拡充を検討すること。

6 地球温暖化対策の推進

- ・市内の緑地保全および緑化の推進を図ること。
- ・市民、事業者、環境保護団体などに対し本市の姿勢を示すとともに、協働するゼロカーボンシティ推進委員や推進協議会などを設置し、地球温暖化対策の取り組みを推進すること。

7 教育環境・子育て施策の充実

- ・いじめ、不登校、ヤングケアラー・若者ケアラー対策として、多様な相談体制の充実や居場所づくりなど、予防対策の強化を図ること。
- ・放課後子ども教室や無料学習支援の充実、アピスマイルサポーターやスクールソーシャルワーカーの増員などを図ること。
- ・待機児童・保留児童ゼロを目指し、子育て世代が安心して暮らせる支援の充実を進めること。
- ・「上尾市奨学金貸付制度」を「給付型」や「国の奨学金の利息補助」などの市民ニーズに応えられる制度内容に転換し、若者の進学および就学を支援すること。

令和5年9月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案 (19件)

議案番号	議案名	議決結果
議案第57号	令和4年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第58号	令和4年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
議案第59号	令和4年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
議案第60号	令和4年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
議案第61号	令和4年度上尾市水道事業会計決算の認定について	
議案第62号	令和4年度上尾市公共下水道事業会計決算の認定について	
議案第63号	令和5年度上尾市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第64号	令和5年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第65号	令和5年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第66号	上尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第67号	上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第68号	財産の取得について【(仮称)平方雨沼公園用地】	同意
議案第69号	市道路線の認定について	
議案第70号	公平委員会委員の選任について【根岸遼氏】	
議案第71号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【今村公宣氏】	
議案第72号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【根岸新作氏】	原案可決
議案第73号	上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第74号	令和5年度上尾市一般会計補正予算(第6号)	
議案第75号	工事請負契約の締結について【UDトラックス上尾スタジアムスコアボード改修工事】	

◎請願 (4件)

請願番号	請願名	議決結果
請願第23号	上尾市立小・中学校における働き方改革に関する請願	採 択
請願第24号	健康保険証廃止に対する意見書提出に関する請願	不 採 択
請願第25号	建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書の提出を求めるに関する請願	
請願第26号	普天間基地周辺子どもたちを取り巻く空・土・水の安全の保障を求める意見書の提出を求める請願	

◎議員提出議案 (5件)

議案番号	議案名	議決結果
議第9号議案	「インボイス制度」の中止を求める意見書	原案否決
議第10号議案	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の円滑な導入に向けた事業者支援の強化等を求める意見書	原案可決
議第11号議案	「健康保険証廃止」の撤回を求める意見書	原案否決
議第12号議案	県水道料金の引上げを回避することを求める意見書	
議第13号議案	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー(循環型経済)の推進を求める意見書	原案可決

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

※○=賛成 ×=反対 ※議長は採決に加わりません。
※一覧に掲載されていない議案・請願は、全会一致で可決・同意・採択。

議案(請願)番号	議決結果	政策・市民の声					上尾同志会					共産党			公明党			彩の会		無党派									
		樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	鈴木茂	浦和三郎	井上茂	小池佑弥	田島純	原田嘉明	新道龍一	田中一崇	渡辺綱一	轟信一	新藤孝子	戸口佐一	池田達生	平田通子	井上智則	前島るり	長沢純	道下文男	小川明仁	星野良行	大室尚	佐藤恵理子	秋山かほる	
議案第57号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第24号	不採択(注)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第25号	不採択(注)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第26号	不採択(注)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第9号議案	原案否決	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第10号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号議案	原案否決(注)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第12号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(注) 可否同数となり、議長裁決の結果、不採択・否決となりました。



市議会 HP

行政視察 報告

各委員会の所管事項について、今後の政策提言に活かすため、先進的な取り組みを行っている自治体に出向いて研修しました。視察の詳細は、市議会ホームページで公開しています。

議会運営委員会・議会改革特別委員会（8月2日～3日）

【視察地／調査項目】

福井県越前市、石川県加賀市／議会運営および議会改革の取り組み

【出席議員】鈴木茂、新道龍一、小池佑弥、原田嘉明、小川明仁、井上智則、樋口敦、矢口豊人、轟信一、新藤孝子、田中一崇、池田達生、大室尚、長沢純、星野良行



越前市議会（議会運営委員会・議会改革特別委員会）

総務常任委員会（8月17日～18日）

【視察地／調査項目】

福島県いわき市／「いわき版MaaS推進プロジェクト」について

福島県双葉町／「東日本大震災・原子力災害伝承館」の見学

福島県富岡町／「東京電力廃炉資料館」の見学

【出席議員】田中一崇、池田達生、小池佑弥、小川明仁、荒川昌佑、浦和三郎



佐久平クリーンセンター（文教経済常任委員会）

文教経済常任委員会（6月27日～29日）

【視察地／調査項目】

長野県佐久市／「佐久平クリーンセンター」について

長野県長野市／脱炭素に向けた取り組みについて

長野県千曲市、群馬県高崎市／不登校対策について

【出席議員】田島純、新道龍一、樋口敦、轟信一、鈴木茂、道下文男



豊田市へのオンライン調査（健康福祉常任委員会）

都市整備消防常任委員会（7月27日～28日）

【視察地／調査項目】

広島県福山市／千代田地区かわまちづくり

広島県広島市／広島駅南口広場再整備

【出席議員】井上茂、井上智則、戸口佐一、渡辺綱一、大室尚

健康福祉常任委員会（8月15日、8月24日）

※オンラインにより調査を行いました。

【視察先／調査項目】

愛知県豊田市／きらきらウエルネス地域推進事業

兵庫県明石市／子育て施策のアピール手法、

「あかしこども広場」における子育て支援施策

【出席議員】海老原直矢、原田嘉明、佐藤恵理子、矢口豊人、新藤孝子、星野良行、前島るり

他市からも行政視察を受け入れました。団体名および視察項目は15ページをご覧ください。

「ここが問題」 「そこが聞きたい」

一般質問



一般質問とは？

議員が、市に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めたり、質問したりすることです。

9月定例会では、9月20・21・22・25・26日の5日間行われ、22人の議員が市政全般78項目にわたって市当局の見解を求めました。また5日間で延べ100人の皆さんが議会を傍聴しました。

※一部を抜粋し掲載しています。詳細は、12月上旬に市議会ホームページで公開予定です。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることで、一般質問の録画映像を視聴できます。



問 本市の特定健康診査の特色と、受診率向上の取り組みを伺う。
答 上尾市医師会と契



小学校(上)/中学校(下)給食

問 物価高と食材高騰に直面している昨今、栄養あるおいしい給食を提供するために現場ではどのような努力や工夫をしているのか。
答 多様な食材を組み合わせ、バランスよく栄養を摂取できるように配慮している。また手作り調理を多く取り入れ、ハンバーグ、コロツケ、グラタン、ルーから作るカレーライスはとても人気がある。



おいしい給食いただきます！
健康診断受けましょう！
2024年問題

問 物流の「2024年問題」として、モノの安定輸送が困難になる懸念がある。働き方改革関連法との関連は。
答 平成31年に労働基準法が改正され、全業種で時間外労働の上限が設けられたが、労働環境の整備に時間を要する建設業、運送業、医師などは5年の猶予期間が設けられており、来年4月から施行される予定である。

問 物価高と食材高騰に直面している昨今、栄養あるおいしい給食を提供するために現場ではどのような努力や工夫をしているのか。
答 多様な食材を組み合わせ、バランスよく栄養を摂取できるように配慮している。また手作り調理を多く取り入れ、ハンバーグ、コロツケ、グラタン、ルーから作るカレーライスはとても人気がある。

問 都心へのアクセスをPRするのであれば、共働き世帯の送迎負担の緩和につながる施策として、送迎保育ステーションを整備すべきと考えるが見解は。
答 乳幼児送迎の安全面や設置場所などに課題があることから、待機児童が増えている現状を踏まえ、駅周辺や利便性を考慮した保育所整備を進めたい。



子どもの送迎をもっと便利に
暑さ対策にもっと便利に
暑さ対策に実効性を

問 子どもの送迎をもっと便利に
答 毎年、私立幼稚園に対し認定こども園へ

問 暑さ対策に実効性を
答 直近の熱中症搬送者数の推移は。
問 9月15日時点で214人となっており、昨年度の130人を上回っている。また12歳以下は21人で17人の増、高齢者は104人で37人の増となっている。
問 公衆の場で搬送数が多いことを踏まえ、人の往来が多い駅周辺やバス停などにミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。
答 先進事例を参考に設置条件や稼働条件、期間などについて調査研究を進めている。

問 暑さ対策に実効性を
答 直近の熱中症搬送者数の推移は。
問 9月15日時点で214人となっており、昨年度の130人を上回っている。また12歳以下は21人で17人の増、高齢者は104人で37人の増となっている。
問 公衆の場で搬送数が多いことを踏まえ、人の往来が多い駅周辺やバス停などにミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。
答 先進事例を参考に設置条件や稼働条件、期間などについて調査研究を進めている。

問 暑さ対策に実効性を
答 直近の熱中症搬送者数の推移は。
問 9月15日時点で214人となっており、昨年度の130人を上回っている。また12歳以下は21人で17人の増、高齢者は104人で37人の増となっている。
問 公衆の場で搬送数が多いことを踏まえ、人の往来が多い駅周辺やバス停などにミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。
答 先進事例を参考に設置条件や稼働条件、期間などについて調査研究を進めている。

問 暑さ対策に実効性を
答 直近の熱中症搬送者数の推移は。
問 9月15日時点で214人となっており、昨年度の130人を上回っている。また12歳以下は21人で17人の増、高齢者は104人で37人の増となっている。
問 公衆の場で搬送数が多いことを踏まえ、人の往来が多い駅周辺やバス停などにミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。
答 先進事例を参考に設置条件や稼働条件、期間などについて調査研究を進めている。

問 暑さ対策に実効性を
答 直近の熱中症搬送者数の推移は。
問 9月15日時点で214人となっており、昨年度の130人を上回っている。また12歳以下は21人で17人の増、高齢者は104人で37人の増となっている。
問 公衆の場で搬送数が多いことを踏まえ、人の往来が多い駅周辺やバス停などにミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。
答 先進事例を参考に設置条件や稼働条件、期間などについて調査研究を進めている。

問 暑さ対策に実効性を
答 直近の熱中症搬送者数の推移は。
問 9月15日時点で214人となっており、昨年度の130人を上回っている。また12歳以下は21人で17人の増、高齢者は104人で37人の増となっている。
問 公衆の場で搬送数が多いことを踏まえ、人の往来が多い駅周辺やバス停などにミストシャワーを設置すべきと考えるが見解は。
答 先進事例を参考に設置条件や稼働条件、期間などについて調査研究を進めている。

市民の生命や財産を守るための 内水対策への取り組み

原田嘉明 (上尾同志会)



問 現状での対策は。

答 河川や都市下水路の計画流量を確保するための整備を進めている。昨年度は浅間川都市下水路の整備を完了し、現在は上尾中堀川を整備している。また道路排水施設も、必要に応じて排水管、側溝、浸透側溝、集水ますの整備を進めている。

問 上尾中堀川の護岸工事の進捗状況は。

答 約83%の整備が済み、令和9年度の完了を予定している。

問 市が管轄していない荒川の堤防や調整池が整備されることにより、直接的な浸水被害を防ぐだけでなく、樋管を閉めるまでの時間も稼げる。さらに平方

地区の整備が早期に完了すれば領家地区の対応も早まると考える。市以外が管轄する河川整備への働きかけの現状と、その成果は。

答 国や県が管理する河川については、適宜河川管理者に対し早期の改善要望を行っている。近年の成果として、平方地区における荒川の堤防や調節池の整備、芝川に架かる東武野田線の橋の架け替えが実施された。



護岸工事が進む上尾中堀川

その他の質問

- ゼロカーボンシティ
- 効果的な防災訓練
- 救命訓練の認識
- 消防・救急の現状

誰もが使いやすい 文化施設の駐車場に

長沢 純 (公明党)



問 埼玉県は、障がいのある方や要介護状態の方、妊産婦など、歩行が困難な方のための駐車区画について利用者の範囲を定め、利用証を交付することで区画の適正利用を推進する「思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）」に取り組んでいる。本市の文化施設の駐車場については、具体的にどのような取り組みなのか。

答 文化施設3館ともに、本年11月から優先駐車区画を示す表示板を設置する予定である。その後は、担当部局と協議しながら検討していく。

問 軽自動車の幅員は2メートル、普通自動車は2・5メートルと規定されている。各文化施設の駐車場スペースは、普通自動車と軽自動車専用の駐車場の幅が変わらなかつたり柱が突き出ていたりするなど、構造的に明らかに狭く、止められな場所も実際にある。今後、使いやすい駐車場にする計画はあるか。

答 イコス上尾やコミュニティセンターの駐車場は、構造上の制約がある中で可能な限り台数を確保している。改修や区画変更の計画はないが、指定管理者と協議しながら、安心安全な駐車場になるよう配慮していく。

その他の質問

- 熱中症対策
- 上尾市ポイント戦略
- 学校安全パトロールカー（青パト）の充実

登下校時の見守りの課題は

井上智則 (公明党)



問 小学生の登下校時には、暑い日でも寒い日でも、天候に関係なく多くのボランティアの方が見守りをしてくれているが、こうした見守り活動の現状と課題を伺う。

答 登下校時の見守り活動は、現在、各校とも多くのボランティアに支えられ、児童生徒が安全安心に登校できるための大きな役割を担っている。また不審者などの犯罪抑制や車両などの交通ルール順守の一助ともなっている。課題としては、見守りボランティアの高齢化や、地域により人数が偏ることなどが挙げられる。

問 スクールガードリ

ーダー同士での横の連携や課題・好事例の共有などを年に1回の会議で行うことは難しい。他の取り組みや会議の回数を増やしていくなど、共有の場を増やすことは考えられないのか伺う。

答 課題や好事例の共有など、スクールガードリーダー同士の連携を深める取り組みについては、会議の回数やホームページの活用など、ニーズを踏まえながら検討する。

その他の質問

- 歩行者が安心して暮らせるまちづくり
- 公用車の有効活用
- こども医療費
- 带状疱疹ワクチン接種
- UDフォント活用や音声コードによる受け手が分かりやすい環境づくり

利用されていない建物・土地の有効活用を



鈴木 茂 (政策・市民の声)



問 市内の空き家をどのように把握しているか。また、その件数は。

答 実態調査を行うとともに、水道の閉栓情報や固定資産税台帳を参考に除却・売却された物件を除外し、新たに管理不全の相談を受けた物件を加えるなど定期的に件数を更新している。本年9月現在、1120件の空き家を把握している。

問 本年6月に空家等対策の推進に関する特別措置法の一部が改正されたが、その内容は。

答 住宅用地特例の解除について、これまで特定空家のみ適用されていたが、特定空家になる前段階の管理不全空家に対しても、管理

指針に即した指導・勧告を行った際には同様の措置ができるようになった。

問 市内の遊休農地はどの程度か。また、農地を活用して太陽光発電を行う事業者もいる。

答 農業従事者の高齢化やゼロカーボンの視点からも、こうした取り組みを周知し、拡大すべきと考えるが見解は。

答 昨年度は、市内農地総面積の約16%を遊休農地と判定した。また農地における太陽光発電は、遊休農地解消に有効な活用方法であると認識しており、農地所有者から相談があれば、引き続き情報提供をしていく。

その他の質問

- 「上尾市こどもまんなか応援サポーター」宣言
- 教育施策

貴重な歴史民俗資料の適切な収集と保存を



海老原直矢 (政策・市民の声)



問 歴史民俗資料の収集の必要性について、市の見解は。

答 古文書などの歴史資料や民具などの民俗資料は、地域の歴史や文化を示す貴重な資料であり、必要に応じて収集を行っている。

問 市ホームページでは、歴史資料の収集について呼びかけていない。資料の受け入れについて市民に周知すべきであると考えるが、いかがか。

答 資料の受け入れについては、現状でも市民から相談をいただいで、保存すべき資料の場合には受け入れていることから、現在のところ周知することは考えていない。

その他の質問

- 市民生活における課題
- ガバナンスと情報公開

問 周知が図れない理由として、体制が不十分であることが考えられる。受け入れ体制の整備について、現状はどのようになっているか伺う。

答 現在、非常に限られた人員、スペースで対応している。

問 貴重な歴史民俗資料の収集に適した設備の整備を行うべきであると考えるが見解は。

答 まずは、現在の保存場所の環境改善を図るべきと考えるが、現在の保管スペースでの環境改善には限界があることから、他の既存施設を活用した保存環境の充実を検討していきたい。

芝川の浸水に備え雨水貯留施設の整備を



井上 茂 (政策・市民の声)



問 総合治水計画における重点対策地区では、公共施設を活用した貯留施設の整備などが検討されているが、整備可能な箇所の選定は。

答 学校や公園などを主な候補として検討している。なお重点対策地区の一つである芝川流域については、さいたま水上公園跡地の駐車場を一部利用し、市

が雨水貯留施設を設置する方向で県と協議を進めている。

問 県は、さいたま水上公園跡地にスポーツ科学拠点施設を造る予定だが、その開発行為とは別枠か。

答 県が整備を進める施設とは別の雨水貯留施設である。現在、貯

留量を含め、県と協議している。

問 計画全体の中で、貯留施設などで貯留する雨水量の想定は。

答 時間最大50ミリメートルの降雨に対し、全地区で乗用車のブレーキドラムが水に漬からない10センチメートル以上の浸水がないように、必要対策量を算出し、貯留施設などの検討を進めている。

問 学校、公園などの公共施設を活用した貯留施設は何力所程度を想定しているか。

答 貯留施設の設置箇所数については、放流する河川の形状、貯留施設から既設管渠への接続の可否、施工時の制約などを検証した上で決定したい。

その他の質問

- 水上公園
- 道路行政

市民要望を取り入れた 公園整備を



田中一崇（上尾同志会）



問 大谷地区の戸崎公園には未整備エリアが残っているが、今後の展開は。

答 現在、一般市民参加型のワークショップを開催し、北側未利用地の使い方や導入する機能空間の配置を検討している。参加者からの提案や意見に基づき計画案を取りまとめ、市民コメント制度の実施を経て、令和6年3月末までに整備計画を策定する予定である。

問 バンスポーツが楽しめる公園の整備については、市民や議員からも要望があることから、今後整備を予定している戸崎公園未利用地や（仮称）平方雨沼公園の整備計画の策定に際し検討したい。

答 自治会が管理する集会所などの新築や修繕、備品購入などに対する「集会所等整備事業費補助金」と、コミュニティ活動に直接必要な備品購入に対する「一般コミュニティ助成事業補助金」があるが、過去5年間で遊具への補助実績はない。

その他の質問

- 高速埼玉大宮線の延伸（新大宮上尾道路）
- 学校施設・教育・保育の諸課題

加齢性難聴者に 補聴器購入費の補助を！



樋口 敦（政策・市民の声）



問 難聴が認知症や転倒の原因となることに対して、市の認識や見解は。

答 加齢性難聴になると、人とのコミュニケーションが減少し、家庭や社会の中での孤立や認知機能の低下につながることで認知症リスクが高まる。周囲の様子を認識する力が衰えるとともに、バランス感覚が鈍り転倒の要因となるという研究報告があること、そして加齢に伴い加齢性難聴が起る可能性は誰にでもあるということも認識している。

問 本市における加齢性難聴者の人数は。

答 第9期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果では、調査対象者の65歳以上の4156人のうち、耳が聞こえづらくなったりと感じる人は42.8%だった。この割合を市内65歳以上の高齢者約6万3千人に単純に当てはめると、耳が聞こえづらいう可能性のある方は約2万7千人と見込まれる。

問 本市で補聴器の購入費の補助をすることに対する見解は。

答 加齢性難聴者への補聴器購入補助については、国や県の支援の動向を注視するとともに、県内で補助を実施している自治体の事例を参考にしながら、有効性などについて研究していく。

その他の質問

- ことも医療費助成
- 公共施設の駐車場

認知症の方へさらなる支援を



荒川昌佑（政策・市民の声）



問 市内の認知症患者数は把握しているか。

答 正確な実数は把握していないが、厚生労働省によると、令和7年には高齢者の5人に1人が認知症になると言われており、本市に当てはめると、1万2千人を超える方が認知症になると見込まれる。

問 介護家族会の開催状況は。

答 在宅で介護している家族の悩みや心配事などを解消できる場として、介護家族会を月1回開催している。

問 認知症支援は、行政と医療機関が連携して取り組むことでさらなる支援が期待できると思うが、市の見解は。

答 認知症の人やその家族が安心して暮らしていくために、医療機関や介護サービス事業所、地域住民などに意見を聞きながら、共に認知症施策の推進に取り組んでいきたい。

その他の質問

- 職場でのハラスメント防止
- 重層的支援体制整備

ネーミングライツの拡大で 歳入の確保を

新道龍一（上尾同志会）



問 公共施設におけるネーミングライツの進捗状況を伺う。まず、プラザ館の募集に当たり、企業へどのようなアプローチをしたのか。またその結果は。

答 商工会議所が会員へ発送する郵送物に広告を同封した他、市への地域貢献活動が活発な事業者などへ個別連絡し、案内送付や事業説明を企業9社に実施したが、結果的に応募はなかった。

問 それでは、文化センター、コミュニティセンター、イコス上尾の募集結果は。

答 市ホームページや「広報あげお」への掲載、市内に拠点を置く企業8社への声掛けを

幸福化社会に向けて シルバー人材センターとの連携強化を

道下文男（公明党）



行った。その結果、文化センターは2件の応募があり、株式会社富士住建と年額110万円、2年間の契約を締結した。またコミュニティセンターは1件の応募があり、三井金属鉱業株式会社と年額50万円、4年間の契約を締結した。

問 市民体育館、平塚サッカー場の募集結果はどうか。

答 市民体育館は1件の応募があったが、その後取り下げとなった。平塚サッカー場については2件の応募があり、株式会社ライフコミュニケーションと年額30万円、4年間の契約締結に至った。

その他の質問

- 上平中学校体育館の建て替え計画
- 平塚地区の街づくり
- 通学路安全対策

幸福化社会に向けて シルバー人材センターとの連携強化を

道下文男（公明党）



問 シルバー人材センターの現状の課題は。

答 会員数の拡大と就業機会の確保が課題であると認識している。

問 シルバー人材センターの定時総会資料によると、令和4年12月31日現在、65歳以上の人口は6万3573人で高齢化率は27・6%、60歳以上のシルバー人材センターの加入率は1・8%とのことである。約1万人が要支援1以上ということを考慮しても、働くことができる元気な高齢者は約5万5千人いる。この裾野をどう広げているのかが重要である。

問 シルバー人材センターの現状の課題は。

答 市広報誌やホームページに会員募集や仕事紹介などを掲載している他、市役所や出張所に関係する記事やチラシを配架している。今後も上尾市シルバー人材センターと連携し、新たな就業可能な分野の開拓を行いながら、就業機会の拡大に努めていきたい。

その他の質問

- 耕作放棄地など活用による農福連携・上尾ブランド
- 市民にとって利便性の高いぐるっとくんの拡充に向けて
- 鴨川中央公園のトイレ改修
- 保育所・小・中学校の熱中症対策

市民体育館の環境整備 大谷北部第二土地区画整理事業

浦和三郎（政策・市民の声）



問 市民体育館の環境整備は誰が管理しているか。

答 市民体育館の樹木については、利用者の安全確保、防犯、近隣への配慮などの観点から、適切な維持管理を日常的に実施することとしており、指定管理者である「上尾スポーツパートナーズ」と担当部署であるスポーツ振興課の双方で管理運営を行っている。

問 市民体育館の環境整備は誰が管理しているか。

答 市民体育館の樹木については、利用者の安全確保、防犯、近隣への配慮などの観点から、適切な維持管理を日常的に実施することとしており、指定管理者である「上尾スポーツパートナーズ」と担当部署であるスポーツ振興課の双方で管理運営を行っている。

問 体育館駐車場内の走行指示線や横断歩道の標示が消えている。これを再塗装する計画はあるのか。

答 経年劣化などにより薄くなり、標示が分かりづらくなっている部分がある。路面表示

その他の質問

- 上尾駅西口駐輪場横に設置されている郷土案内
- フレイルとサルコペニア

安心できる介護保険に



轟 信一 (日本共産党)



問 介護保険の現状と課題について伺う。

答 昨年度に実施した高齢者実態把握アンケート調査では、家族や友人、知人以外に相談する相手がいないと回答した割合が上昇した他、地域活動が減少し、外出控えの傾向が増加しており、新型コロナウイルスの影響を顕著に受けた結果となった。

問 介護サービスの利用者が増えているか。

答 令和3年度以降の各4月末時点の受給者は、令和3年度が8477人、昨年度が8822人、本年度が9176人である。

問 介護人材の確保について課題はあるか。

答 介護職は夜勤など

がありきつい、給与水準が低い、将来に不安があるなどのマイナスイメージがあり、人材の参入阻害要因となっている。

問 事業所からはどのような相談があるか。

答 利用者からの過度な要求などハラスメントへの対応で悩んでいると相談が増えている。

問 市は介護保険制度についてどう取り組んでいくのか。

答 今後もアップリー元気体操をはじめ、介護予防活動の推進や地域ネットワークの強化などに取り組み、スポーツ健康都市を宣言した本市にふさわしい持続可能な介護サービス基盤の整備を進める。

その他の質問

- 防災力強化を
- 住宅リフォーム助成で地域活性化を

敬老事業交付金

2千円に復活を



戸口 佐一 (日本共産党)



問 令和2年度のコロナ禍における臨時財政運営方針により、敬老事業交付金が1人あたり2千円から千円に引き下げられた。コロナ禍の臨時財政運営方針で10%カットされたものが概ね復活されている。敬老事業交付金が2千円に戻っていない理由は。

答 敬老事業交付金の対象者の増加が見込まれることにより、さらなる財政負担が想定されることや、敬老事業としての効果的な取り組みはどのようにするかなど、交付金のあり方を整理する必要性があることから、今後とも単純に金額を戻すというものではないと考

えている。

問 敬老事業交付金を1人あたり2千円に戻すよう求める声はないのか。

答 7月28日に上尾市自治会連合会から、敬老事業交付金に関する要望書が提出された。

問 自治会連合会からの要望をどのように受け止めているか。

答 自治会連合会は、敬老事業の重要な担い手であることから、要望内容については真摯に受け止めている。



その他の質問

- 平和行政の推進を
- 低廉で安全な水道料金を
- 市の住宅政策の確立を

払える健康保険税に



新藤 孝子 (日本共産党)



問 県から示された国民健康保険運営方針(第3期)の内容は。

答 令和9年度の準統一に向けて、赤字削減のための取り組み、収納率の目標などが記載される予定である。

問 一般会計からの法定外繰り入れを解消し国保加入者に負担を重くするという方針である。均等割は、子ども数が多いほど負担が引き上がるが、市独自に減免しない理由は。

答 法定外繰り入れを増やす要因となる新たな施策は、赤字解消を目指す中で実現するのは難しい。

問 国保加入者の近年の差し押さえ件数は。

答 令和2年度は41

5件、令和3年度は451件、昨年度は432件である。

問 所得は低いのに、保険税は他の保険に比べると一番高い。物価高騰などで生活が困窮している中、保険税の値上げは暮らしに大きく影響する。今でも滞納者が多く、差し押さえも毎年400件を超えている。それでも保険税を引き上げることについて市長の所見は。

答 国保制度を持続可能で安定的なものとするために税率の改定は避けて通れないことから、国民健康保険運営協議会の意見を聞きながら慎重に審議したい。

その他の質問

- マインナー法改定で国民皆保険制度は守れるか
- 介護保険制度の不安解消を

学校にエアコンを 便利なくるつとくんに

平田通子 (日本共産党)



学校にエアコンを

問 本年度、各学校に2台の冷風機が配置されたが、効果の検証は。

答 移動可能な冷風機は複数の教室で利用が可能で、教室内の風が動き、体感的に良くなっていると感じている。

問 体温以上に気温が高くなる日もある中、エアコンなしで授業が可能と考える根拠は。

答 気温が体温以上になる日は、屋外活動を控えるなど各学校で適切に対処している。エアコン未設置の特別教室への対応として、中学校においては冷風機を配置したものである。

問 子どもたちの教育環境を守るために、エアコンの整備が必要で

はないか。

答 喫緊の課題である学校施設の更新が間もなく始まる中で、エアコンの設置を含めて、新しい時代の教育環境の整備を進めていく。

便利なくるつとくんに

問 ぐるつとくんの運行見直し方針は。

答 車両台数の増加や現運行ルートの維持などを掲げている。運行時間帯も基本的には変更しない。また運行本数は1日96便から120便に増やし、平均運行間隔も短縮する。

問 東大宮駅への乗り入れは。

答 今回の運行見直しの効果検証を行った上で、引き続き検討する。

その他の質問

●希望する人に保育の保障を

●教員の多忙化を解消し、学びの保障を

大災害が起きたときの 対応策は

大室 尚 (彩の会)



問 本年は関東大震災

が起きてちょうど100年である。もし関東直下型大震災が起きれば重要な社会課題であると考えるが、本市で大災害が起きたときの対応策について伺う。

答 大震災が発生したときには、市内全域において大規模な火災の他、建物倒壊など甚大な被害の発生が想定される。そのような状況下においては、可能な限り消防本部、消防団などが初動対応するとともに、その後、各地から駆けつける緊急消防援助隊を受援して、消火活動、救助活動に全力で対応することを想定している。

問 電柱が倒壊した場合

合の処理について、本市の災害対応計画ではどうなっているか。

答 電柱倒壊などに関する具体的な記載はないが、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社と停電復旧作業、道路などの啓開作業を早急を実施するための覚書を締結している。

問 震災が起きて電柱が倒れた場合、自治体が勝手に撤去できるか。

答 東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社との災害時における相互協力に関する覚書により、同社の電柱などの撤去は可能である。今後、東日本電信電話株式会社とも覚書を締結し、災害時支障となる全ての電柱などを撤去できるよう対応していきたい。

問 暑さ対策

発達に障害がある子どもの 現状と対応は

秋山かほる (無党派)



問 発達に障害がある

子どもの過去5年間の推移を伺う。

答 市内特別支援学級の過去5年間の在籍児童数は、小学校が平成30年度の194人から昨年度の245人、中学校が平成30年度の77人から昨年度の96人にそれぞれ推移している。

問 こうした子どもたちに対して、学校内ではどのようなフォローをしているか。

答 各教科の学習に加え、社会生活を想定した教科横断的な生活単元学習、また障害による困難を克服し、日常生活に必要な力を身につける自立活動などの指導を行っている。これらの指導は一人一人

問 2025年問題

の実態や教育的ニーズに応じて、具体的な目標や指導内容を設定し、特別の教育課程や個別指導計画を基に、きめ細やかに実施している。

問 途中でクラス替えはあるか。

答 実態に応じて、特別支援学級から通常学級への形態変更が行われるケースもある。

問 校外では、具体的にどのようなフォローをしているのか。

答 発達障害があり、支援が必要な児童に対して、学校の授業終了時などに生活能力向上のための訓練を行う「放課後等デイサービス事業所」が市内に40カ所あり、学習支援や集団遊び、スポーツなど事業所ごとに特色を持った活動を行っている。

問 2025年問題

今後の消防体制の整備は



小川明仁(彩の会)

問 以前、救助車の更新に合わせて救助隊の格上げをするとの説明があったが、その装備について詳細を伺う。

答 今後の大規模地震に備えて、来年度中に高度救助隊を発足する。この高度救助隊は、東消防署に配置している特別救助隊の装備に加え、画像探索機、地中音響探知機、地震警報器などの震災対応用の高度救助資機材を備え、専門的かつ高度な救助活動が可能となり、市民のさらなる安心安全につながるかと考える。

問 最終的に装備を運用するのは消防隊員であるが、職員の定年引き上げに伴う人員配置について、どのように

考えているか。

答 本年4月から定年年齢が段階的に引き上げられ、消防本部においても、今後全職員の約15%が60歳以上になることが予想される。定年延長となる職員の配置は、それまでの業務経験、知識や技術といった特性を踏まえ、現状ではその多くが災害現場の最前線で活動することとなる。

今後は、定年延長を見据えた職員の体力維持に取り組み、ともに将来を見据えた人員配置を積極的に行い、多くの職員が多様な業務を行えるよう育成することが必要と考える。

その他の質問

- 循環型社会に向けた取り組み
- コロナ禍における融資及び貸付の状況
- 文化振興

市民がいきいきと活動し健康に暮らせる交通政策を



矢口豊人(政策・市民の声)

問 ぐるっとくんの増便の概要は。

答 1日96便から120便に増便する。

問 ゼロカーボンシートの施策として、EVバスの導入を検討すべきではないか。

答 増便後はEVバスの導入にも取り組む。

問 災害時には蓄電した電気をスマホなどの充電にも使える。EVバスを避難所に派遣してもらおう協定も締結してほしい。今後、交通手段の確保がますます重要となるが、タクシ一の有効活用を具体化すべきではないか。

答 民間事業者によるAIを活用したデマンド交通などの情報収集

を行っている。

問 バス停にベンチが欲しいという声が多い。ベンチの設置を増やす必要があると考えるが見解は。

答 利用者や通行の安全性の観点から、慎重に判断する必要がある。

問 上尾駅東口の交差点をスクランブル化してほしいという要望が多いが、検討状況は。

答 管理者である埼玉県や埼玉県警察の取り組みを注視しているが、必要に応じて上尾警察署に改めて要望などを行っていく。



“ぐるっとくん”をEVバスにして、災害支援車として活用を

その他の質問

- 市政における諸課題

他市からの行政視察

- 7月18日 長野県宮田村「上尾市議会議員政治倫理条例」
- 7月25日 大阪府堺市「ヤングケアラー対策」
- 8月2日 北海道室蘭市「上尾市児童館こどもの城」
- 8月7日 大阪府箕面市「部活動地域移行モデル事業」
- 8月21日 北海道釧路市「学校施設更新計画基本計画、小中一貫教育基本方針」
- 10月4日 埼玉県春日部市「上尾市議会議員政治倫理条例、上尾市長等政治倫理条例」
- 10月13日 茨城県つくば市「上尾市スポーツ健康都市宣言の取り組み、上尾市民体育館の空調設備」
- 11月8日 新潟県魚沼市「おくやみ窓口」

同意した人事案件

■公平委員会委員に根岸遼氏

公平委員会委員・福地輝久氏ふくちてるひさが令和5年7月21日をもって退職したため、後任として根岸遼氏ねぎしりょうを選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■固定資産評価審査委員会委員に今村公宜氏・根岸新作氏

固定資産評価審査委員会委員・今村公宜氏いまむらきみのりおよび根岸新作氏ねぎしんさくの任期が令和5年9月30日で満了となるため、両氏を再び固定資産評価審査委員会委員に選任することについて同意を求められ、いずれも全会一致で同意しました。

委員会活動 R5.7.16 ~ R5.11.15



総務常任委員会(いわき市への行政視察)



都市整備消防常任委員会(広島市への行政視察)

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	8/17~18 9/5 9/26	・行政視察(いわき市、双葉町、富岡町) ・9月定例会提出議案1件、請願1件を審査 ・9月定例会提出議案1件を審査
文教経済常任委員会	9/6 9/26 10/4 11/7	・9月定例会請願1件を審査 ・9月定例会提出議案1件を審査 ・所管事務調査「上尾市学校施設更新計画実施計画について」 ・所管事務調査「いじめ重大事態について」
都市整備消防常任委員会	7/27~28 9/5 9/26	・行政視察(福山市、広島市) ・9月定例会提出議案4件を審査 ・9月定例会提出議案1件を審査
健康福祉常任委員会	8/15 8/24 9/6	・オンライン視察(豊田市) ・オンライン視察(明石市) ・9月定例会提出議案5件、請願2件を審査
議会運営委員会	8/2~3 8/25~10/5	・行政視察(越前市、加賀市) ・議会運営について協議(協議回数6回)
議会改革特別委員会	8/2~3 8/23 10/23	・行政視察(越前市、加賀市) ・外部サポート、議会モニター制度、SNS等情報発信の基準、審議会等委員の議会選出の再検討、議長立候補制の導入について他 ・SNS等情報発信の基準、報告書について他
決算特別委員会	9/4 9/8 9/11 9/12 9/13 9/14 9/15	・正副委員長の互選 ・一般会計歳入および歳出(総務関係)を審査 ・一般会計歳出(健康福祉関係)を審査 ・一般会計歳出(教育・環境経済関係)を審査 ・一般会計歳出(都市整備消防関係)、企業会計を審査 ・財産に関する調書、特別会計を審査 ・討論、採決、提言まとめ
議会編集委員会	7/19 9/29 11/15	・「あげお議会だよりNo.207」について協議 ・「あげお議会だよりNo.208」について協議 ・「あげお議会だよりNo.208」について協議

***12月定例会は、12月12日(火)に開会予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、12月6日(水)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 田島 純
- 副委員長 樋口 敦
- 委員 小池 佑弥
- 委員 井上 智則
- 委員 荒川 昌佑
- 委員 轟 信一
- 委員 戸口 佐一
- 委員 大室 尚

採択された請願

令和5年9月定例会において、次の請願が採択されました。
上尾市立小・中学校における働き方改革に関する請願
請願者/特定非営利活動法人なごみ 神田和彦氏

一意見書2件を原案可決一

9月定例会では、議員提出議案として意見書5件を提出し、2件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆適格請求書等保存方式(インボイス制度)の円滑な導入に向けた事業者支援の強化等を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 経済産業大臣 内閣府特命担当大臣(公正取引委員会) 衆議院議長 参議院議長

◆脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー(循環型経済)の推進を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 経済産業大臣 国土交通大臣 環境大臣 衆議院議長 参議院議長

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

閉会 25日

一般質問 15・18・21日

委員会(文教経済、健康福祉) 14日

委員会(総務、都市整備消防) 13日

開会、質疑、委員会付託 12月12日

12月定例会
会期予定表